

2016 年秋季 日本サーフィン連盟 公認ジャッジ資格試験

筆記問題 回答用紙

受験番号	受験級 (○印)	受験会場 (○印)
	A ・ B ・ C ・ D	北海道 ・ 仙台 ・ 東京 ・ 愛知 ・ 大阪 ・ 福岡 ・ 沖縄

問題1 ジャッジクライテリア (ジャッジ基準) の空欄を記述せよ。

選手がスコアリングポテンシャルを最大限に引き出すためには、波の (クリティカルなセクション) で

(スピード、パワー、フロー) を伴う、ラディカルでコントロールされたマニューバーを行わなければ

ならない。(革新的で斬新なサーフィン)、(結合性、多様性) を備えた

マニューバーは考慮されスコアに反映される。より良い波でもっとも難易度が高く、そして (積極的な

マニューバー) を行える選手はより高得点を得ることが出来る。

問題2 サーフィン検定における3級に要求される技術を記述せよ。

・テイクオフからレールを使ったターンで加速できること。

・カットバックもしくはリエントリーが出来る事。

・ボディボードは、上記の技術に加えスピン (どこでも良い)、が出来る事。リエントリーの代わりにエルロロ、もしくはローラーコースターでも可。

・ロングボードは上記の技術に加え、ウォーキング・ウォーキングバックができること。

問題3 5段階の「スコアリングカテゴリー」について用語と数字を記述せよ。

POOR	(0.1 ~ 1.9)
FAIR	(2.0 ~ 3.9)
AVERAGE	(4.0 ~ 5.9)
GOOD	(6.0 ~ 7.9)
EXCELLENT	(8.0 ~ 10.0)

問題4 妨害を判定する基準及び順序を記述せよ

①どのような波か? (ライトブレイク、レフトブレイク、オープンブレイク、マルチピークブレイク)

②どの選手に優先権があるか

③スコアリングポテンシャルを妨げたか否か?

④どの妨害のルールにあてはまるのか

